

2 0 0 5 年 1 0 月 1 2 日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
2-5 F・Kビル
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
広報部 03-3664-5697

中国における P C 及び周辺機器、通信機器の生産、輸出、国内市場調査を実施 - ノート P C、L C D モニター、デジタルカメラが急成長する中国国内市場 -

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 代表取締役 阿部英雄 03-3664-5811)は、このほど中国における情報機器、通信機器の生産・輸出・販売状況について調査を実施した。その結果を調査報告書「2005年 中国電子機器産業・市場の展望(下巻)<情報機器・映像情報機器・通信機器編>」にまとめた。

<2004/2005年 中国の情報・通信機器産業の特徴>

P C・周辺機器、情報機器分野では、中国の国内企業は世界の上位メーカーと比較してまだまだ力が足りない部分が多い。世界市場では日本、韓国、台湾メーカーが強く、中国国内はこれらのメーカーの生産拠が多く、世界市場と中国国内市場向けに生産している。2004年は一段と中国での生産が増え、輸出も拡大した。特にノート P C、L C D モニター、D V D - R O M ドライブ、プリンター、デジタルカメラ、携帯電話機などは、世界市場へ向けての外資企業による輸出が増えた。D V D 記録型ドライブも中国での生産が急増し始めた。

中国国内市場では、2004年に高付加価値の製品が徐々に浸透し始めた。ノート P C、L C D モニター、D V D - R O M ドライブ、デジタルカメラなどが急増した。D V D 記録型ドライブも普及元年となった。一方、携帯電話機は2003年後半から国内メーカーの生産過剰が続く、事業整理に入った企業が多い。

2005年以降も引き続き世界市場への供給のための生産は増えるが、2005年7月に政府の管理下にあるとはいえ中国人民元が変動相場制に移行したため、今後の人民元の状況によっては輸出に影響も出てくるであろう。

<ハイエンド機器市場の拡大、モニターなどで世代交代が始まった中国国内市場>

2004年は、デジタルカメラ(前年比143%増)、ノート P C(同44%増)といったハイエンド機器の市場が拡大した。また、D V D 記録型ドライブ(同174%増)、L C D モニター(同81%増)が高い伸びを示し、2005年以降 C D - R W ドライブや D V D - R O M ドライブから D V D 記録型ドライブへ、C R T モニターから L C D モニターへと進み2007年にはその地位が逆転すると予測される。携帯情報端末、データプロジェクターも二桁成長が予測される。携帯電話機は、2004年に1億台の市場を形成し、今後は1億1千万台程度で推移するとみられる。

携帯電話機市場

2004年の中国の携帯電話新規加入者は約6千5百万人で、2005年1月時点の加入者総数は約3億4千万人となっている。中国信息产业部では既加入者の買い替えを年間約4千万とみている。新規加入と買い替え需要により今後も1億1千万台程度の市場を維持していくと予測される。2004年後半以降外資が攻勢をかけシェアを奪回しており、2005年は58%を占め、2006年には60%に達すると予測される。2005年のトップ3は、N O K I A、M O T O R O L A、S A M S U N G となり、この3社で40%を占めると見られる。中国メーカーは外資との厳しい競争にさらされ撤退するメーカーもでており、今後も淘汰が進み、生き残りをかけて激しい競争が繰り広げられるであろう。競争は価格だけにとどまらず、多種多様な新製品による消費者の選択肢の拡大、ターゲット別のマーケティング、流通の整備など多岐にわたる。

<世界の生産基地としての中国>

今回の調査対象13品目中データプロジェクターを除く12品目で、年間生産台数が1千万台を超え、特に携帯電話機、固定電話機は2億台を超えている。ほとんどの製品が輸出中心であり、国内向けが輸出を上回るのはデスクトップ P C と携帯情報端末の2品目である。他の11品目は輸出が60%以上であり、プリンター、D V D 記録型ドライブ、ノート P C、デジタルカメラ、C D - R W ドライブ、L C D モニターは輸出比率が90%を超える。

DVD-ROMドライブ、固定電話機も80%を超え、携帯電話機も60%以上(1億3千万台超)が輸出であり、世界の生産基地としての中国は健在である。2億台を超える携帯電話機の生産であるが、日系メーカーの影は薄く、生産台数上位10社に顔を出しているのはソニーエリクソン(生産シェア6%で2004年は5位)だけである。ノートPCは台湾メーカー、LCDモニターは台湾と韓国メーカー、プリンターとデジタルカメラは日本と米国のメーカーの生産規模が大きい。

調査対象

分野	品目	種類別	主要部品ユニット動向
PC関連	デスクトップPC	デスクトップPC、PCサーバー	
	ノートPC	12、13、14、15インチ	ノートPC用マザーボード
	携帯情報端末	電子辞典、PDA、PDA携帯電話機	
PC周辺機器	CRTモニター	15、17、19インチ	CDT
	LCDモニター	15、17、19インチ	LCDモニター用TFT-LCDモジュール
	CD-RWドライブ	40、48、52倍速	光ピックアップ
	DVD-ROMドライブ	8、16倍速	光ピックアップ
	DVD記録型ドライブ	DVD-R、DVD-RAM、DVD±RW	光ピックアップ
プリンター	ドットインパクト、レーザー式	トナー/インクカートリッジ、ドラム	
映像情報機器	デジタルカメラ	100万、200万、300万以上画素	CMOS、CCD
	データプロジェクター	LCD式、DLP式	プロジェクターエンジン
通信機器	携帯電話機	GSM、GPRS、CDMA、CDMA-1X、PHS	携帯電話機用プリント回路板
	固定電話機	普通電話機、コードレス電話機	電話機用プリント回路板

調査方法

関係各機関の統計、推定を基に、中聯富士経済咨询有限公司調査員による主要企業への取材。

調査期間

2005年7月～8月

以上

資料タイトル:「2005年 中国電子機器産業・市場の展望(下巻)<情報機器・映像情報機器・通信機器編>」
 体 裁 : A4判 247頁
 価 格 : 100,000円(税込み105,000円)
 調査・編集 : 富士経済 東京マーケティング本部 第四事業部
 TEL:03-3664-5821 (代) FAX:03-3661-9514
 発 行 所 : 株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル
 TEL03-3664-5811 (代) FAX 03-3661-0165 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp
 この情報はホームページでもご覧いただけます。URL:http://www.group.fuji-keizai.co.jp